

宝塚市におけるタイワンタケクマバチの記録

宇野宏樹

タイワンタケクマバチ *Xylocopa tranquebarorum* は国内では 2006 年愛知県豊田市で初めて確認された、台湾・大陸中国南部からインドにかけて自然分布する外来種の本種である(国立環境研究所, 2021)。兵庫県下での本種の公式の記録としては尼崎市・小野市・明石市・西宮市・赤穂市・加古川市・神戸市での記録が挙げられる(上森, 2018; 柴田, 2020; 宇野, 2021; 吉田, 2021)他、インターネット上には非公式の記録であるが宝塚市や三田市の目撃例も見られる。しかしながら、宝塚市における公式の記録は無いと思われるので、筆者の採集例を報告しておきたい。



図 宝塚市で得られたタイワンタケクマバチ。

1ex. (図), 兵庫県宝塚市逆瀬川 2 丁目阪急逆瀬川駅. 14. V. 2021. 筆者採集保管.

本記録は、阪急逆瀬川駅の出口付近で床に落ちていた個体を採集したものである。

○参考文献

- 上森教慈, 2018. 兵庫県尼崎市でタイワンタケクマバチを採集. きべりはむし, 41 (1): 31.
 柴田 剛, 2020. 小野市と明石市でタイワンタケクマバチを確認. きべりはむし, 43 (2): 55.
 宇野宏樹, 2021. 兵庫県におけるタイワンタケクマバチの追加記録. 月刊むし, 604: 56-57.
 国立環境研究所, 侵入生物データベース. タイワンタケクマバチ. <https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/60530.html> (2021 年 5 月閲覧)
 吉田浩史, 2021. 神戸市内からのタケクマバチの記録. きべりはむし, 44(1): 102-103.

(Hiroki UNO 兵庫県西宮市)

3 採集: 明石市藤江 (藤江海岸)

確認年月日: 2021 年 8 月 4 日

目撃: ♀ 2 個体, 採集: ♀ 1 個体

訪花植物: ハマゴウ (シソ科)

4 採集・撮影: 加西市網引町 (下池の土手)

確認年月日: 2021 年 6 月 22 日

目撃: ♀ 数個体, 採集: ♀ 1 個体

訪花植物: ムラサキツメクサ (マメ科)

5 採集・撮影: 加西市網引町 (万願寺川の岸)

確認年月日: 2021 年 6 月 28 日

目撃: ♀ 数個体, 採集: ♀ 1 個体

訪花植物: トウネズミモチ (モクセイ科)

6 撮影: 加西市玉丘町 (玉丘史跡公園)

確認年月日: 2021 年 8 月 25 日

目撃: ♀ 数個体

訪花植物: ミソハギ (ミソハギ科)

7 撮影: 加西市倉谷町 (アシガ池の岸)

確認年月日: 2021 年 8 月 25 日

目撃: ♀ 1 個体

訪花植物: ミソハギ (ミソハギ科)

8 撮影: 加西市笹倉町 (宇双下池の土手)

確認年月日: 2021 年 9 月 1 日

目撃: ♀ 数個体

訪花植物: ノアズキ (マメ科)

○参考文献

- 上森教慈, 2018. 兵庫県尼崎市でタイワンタケクマバチを採集. きべりはむし 41(1): 31
 柴田剛, 2020. 小野市と明石市でタイワンタケクマバチを確認. きべりはむし 43(2): 55
 吉田浩史, 2021. 神戸市内からのタケクマバチの記録. きべりはむし 44(1): 102

(Takeshi SHIBATA 兵庫県明石市)